

参加費
無料

あなたの
アイデアが
次回のテーマに
なるかも！

知ろ
信州リ
ビング・ラボ

食の研究を通じた

社会課題解決

― 地域資源を活用した道の駅の活性化事例に学ぶ ―

今メディアで注目
道の駅 中条
「おぶっこ」の立役者
市民研究家 大野直樹氏
のトークセッション

お申し込み



開催日時

2025

2.15 土

13:00 - 15:30 (12:30 開場)

会場

33GAKU

〒390-0874

長野県松本市大手3丁目3-9
NTT 東日本大名町ビル1F

JR 松本駅より徒歩約13分

(駐車場は松本 33GAKU HP をご参照下さい)

対象者

長野県の社会課題解決に興味がある方
特に「食の視点から課題解決に取り組みたい方」
「リビング・ラボ活動に取り組みたい方」大歓迎!!

定員

20名

参加費

無料

プログラム

トークセッション

「食の研究を通じた社会課題解決
― 道の駅中条の活性化 ―」

グループワーク

「あなたはどのような社会課題を、
どのように大学や社会と連携して解決したいですか？」

お問い合わせ

信州大学 信州リビング・ラボ事務局
living-lab@shinshu-u.ac.jp

食の研究を通じた社会課題解決

・地域資源を活用した道の駅の活性化事例に学ぶ・

タイムライン

12:30	開場
13:00 ~ 13:10	主催者挨拶
13:10 ~ 13:20	チェックイン
13:20 ~ 13:55	大野さんトークセッション&QA 「食の研究を通じた社会課題解決 ～道の駅中条の活性化～」
13:55 ~ 14:30	グループワーク 「あなたはどのような社会課題を、 どのように大学や社会と連携して解決 したいですか？」
14:30 ~ 14:50	グループワークのまとめ 適宜休憩
14:50 ~ 15:20	発表・フィードバック
15:20 ~ 15:30	総評
15:30	閉会 記念撮影 アンケート 散会



市民研究家：大野直樹氏

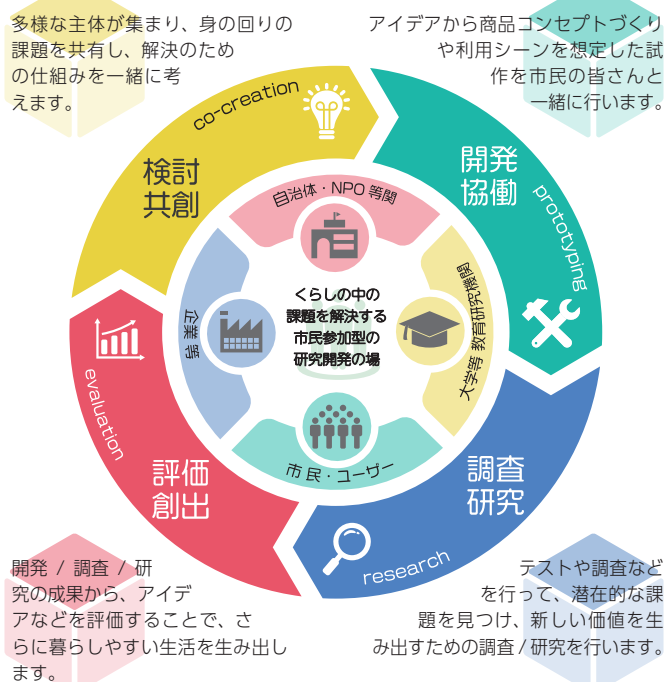
互惠株式会社取締役 COO。信州 100 年企業創出プログラム第 5 期リサーチ・フェローとして、地域の企業と連携し道の駅中条にて郷土料理「おぶっこ」を物販商品化。地域活性化を実現（メディア掲載多数）。地域活性化学会での学会発表や論文執筆、また他大学でのゲスト講師登壇などアカデミアにおける活動も精力的に取り組んでいる。当日は「食の研究から社会課題（地域活性化）」へ取り組んでいる事例として、ご自身の知見・経験をお話頂く。



リビング・ラボ（Living Labs）とは、市民・社会を中心に据えて、ものづくり・サービス・政策等を創り出す新しいイノベーション創出の考え方です（Citizen Centered Innovation）。みなさんの日々の生活や仕事の現場（リビング）などを研究開発の場（ラボ）に見立て、多様な主体と協働してデータを一緒に分析したり、アイデア創出をしながら、新しい社会的価値を生み出していきます。

信州大学では、次世代の研究や教育におけるイノベーションを進める上で、リビング・ラボの考え方の有効性に着目し、「信州リビング・ラボ構想」を提案しています。また、リビング・ラボ構想を進める上で必要となる「プラットフォーム」の構築、プラットフォームを活用した様々な「プロジェクト」の創出に着手しています。

市民・ユーザーを中心としたものづくりやサービス・政策等を創出します



主催：信州大学 信州リビング・ラボ 事務局

共催：互惠株式会社

後援：33GAKU



信州大学 信州リビング・ラボ事務局
living-lab@shinshu-u.ac.jp

〒390-8621

長野県松本市旭 3-1-1

信州地域技術メディカル展開センター 1 階